

令和6年度 第3回 広沢小 学校運営協議会

令和6年10月16日(水)

13:00～15:30

開放教室

開会 開催要件(委員の過半数の出席)確認 <司会:鈴木、記録:中村>

1 会長挨拶 (杉浦会長)

2 校長挨拶

3 議長の選出

4 前回会議録確認

5 熟議 <議長: >

(1) 部活動(音楽部)の地域移行について 14:00～14:30

(2) 個別最適な学習と子供に付けたい力について 14:30～15:00

6 報告 <司会:鈴木、記録:中村>

(1) 全国学力学習状況調査の結果について

(2) 学校支援コーディネーターから

(3) 次回協議会内容

・学校運営協議会の自己評価について

7 連絡事項

・次回 令和7年2月21日(金) 13:30～15:30

閉会

学校運営協議会 年間計画

令和6年4月1日～令和7年3月31日

※ 委員の過半数の出席がないと開催できません。

※ 感染症の感染拡大防止等、状況により、開催が中止、あるいは延期になる場合があります。

回	日時 会場	主な内容 熟議のテーマ 等	備考
1	令和6年 5月10日 金曜日 13:30～15:00 会議室	熟議テーマ (1)令和6年度学校運営の基本方針について (2)本年度の学校運営協議会の目標および取組について (3)広沢小見守り隊の取組について ☐ 夢育やらまいかCS加算分についての意見書について	
2	6月17日 月曜日 13:00～15:00 会議室	熟議テーマ (1)「いじめ防止等のための基本方針」について ・説明と共通理解 (2)地域人材によるクラブ活動の取組について (3)学校評価アンケートの項目の検討について ☐ 学校支援活動の近況	
3	10月16日 水曜日 13:00～15:30 会議室	熟議テーマ (1)学校支援活動の具体策について ・部活動(音楽部)の地域移行について (2)個別最適な学習と子供に付けたい力について ☐ 全国学力学習状況調査の結果について	★学校運営協議会の自己評価表 ★委員の意見収集⇒学校への提出 締め切り日 11月8日(金) 教頭あて
4	令和7年 2月21日 金曜日 13:30～15:30 会議室	熟議テーマ(予定) (1)学校関係者評価について 学校の自己評価(結果、分析・考察、改善方策等)の説明 ⇒改善方策について熟議(この結果を学校関係者評価として提出)⇒協議会終了後、見直し⇒公表⇒次年度へ反映 (2)次年度学校運営の基本方針について 説明と承認 (3)学校運営協議会の自己評価 ☐ 夢育やらまいかCS加算分の報告	★学校評価の自己評価、学校関係者評価は、教育総務課へ提出、学校HPに公表 ★学校運営協議会の自己評価は、学校運営協議会会長から教育総務課へ提出、学校HPに公表 ★夢育やらまいかCS加算分の報告は、意見書、報告書、決算書を教育総務課へ提出

第3回 学校運営協議会出席者

学校運営協議会委員

会長	すぎうら いうじ 杉浦 友治
副会長	ひらの けいご 平野 圭吾
委員	やまだ たにかず 山田 谷一
委員	かわかみ れいこ 川上 玲子
委員	はしもと のりゆき 橋本 憲幸
委員	みやもと よしこ 宮本 慶子
委員	はしもと かずよ 橋本 かずよ
委員	ささき ともなり 佐々木 知成
委員	かとう いずみ 加藤 いずみ（学校支援コーディネーター）

学校支援 コーディネーター	やの たかえ 矢野 貴恵
------------------	-----------------

オブザーバー

自治会長（鹿谷町亀山）	花井 陽一
アクト音楽院	徳田 陽子

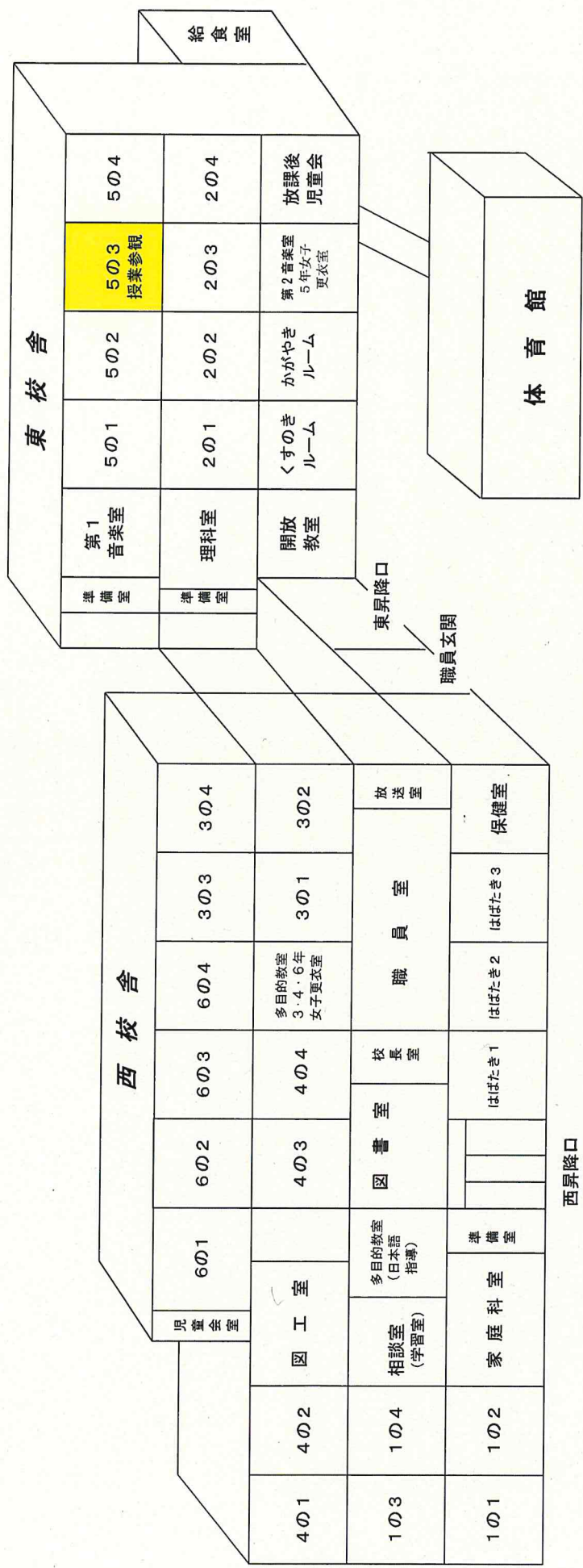
学校

校長	澤田 強志
教頭	鈴木 俊彰
主幹	中村 敦
C S 担当教職員	渥美 彰三
C S ディレクター	

浜松市教育委員会

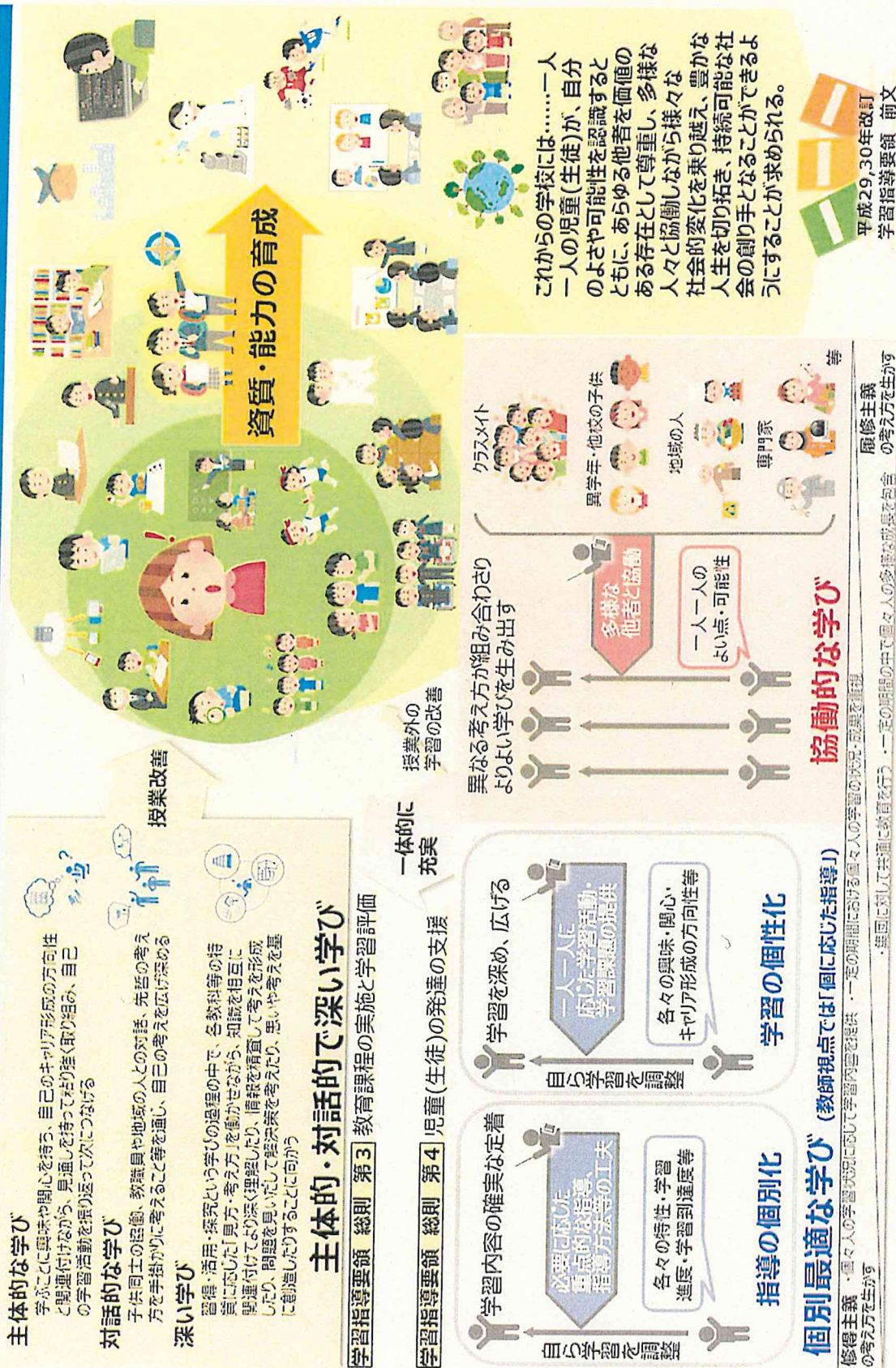
教育総務課	
-------	--

令和6年度 教室配置図



【本日の参観授業】
 5年3組 算数科「平均」
 ○ 本時に至る学習過程
 この学習の到達目標を「こんなとき、どうする？オリジナル問題を作ろう」として、単元計画を立てることから始めています。問題づくりについては、個人の進捗で進めます。問題づくりを通して、平均についての知識・理解力や思考・判断力を身に付けることを目標としています。
 ○ 本時について
 個々で進め方を決めて、問題をつくります。一人で考えている児童や友達と考えている児童、タブレットを使って交流している児童というように様々な児童の表れが見られると思います。

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実(イメージ)



1 研修構想図

学校教育目標

共に輝き 未来を拓く子

目指す学校像

大好き広沢 ～みんなの笑顔があふれる学校～

研究主題

まずやってみよう！子供が主役の授業づくり

～個別最適化・協働的な学びを通して～

主体的・対話的で深い学び

個別最適な学び

- 指導の個別化・・・学習内容の確実な定着のため自らの学習を調整
- 学習の個性化・・・興味関心から学習を深め、広げ自らの学習を調整
- ◎単元構想の工夫
 - ・単元や授業の見通し
 - ・自分自身で学習計画を作成
 - ・自分に合う課題や手立てを選択
 - ・学び方についての振り返りの充実

協働的な学び

- 意図的な交流、自然発生的な交流を通して、異なる考え方が組み合わせ、よりよい学びの作成
- 多様な他者(クラスメイト、異学年、地域の人、専門家など)との交流
- ◎意図や視点を明確にした交流
 - ・聞く力、話す力の育成
 - ・学習形態の工夫(ペア・グループなど)
 - ・ミーティングボードの活用
 - ・ICTを使った交流
 - ・交流時間の確保(反転学習)

キャリア教育で育む基礎的・汎用的能力

かかわる

交流の充実

やりぬく

行事ごとの目標の
明確化と振り返り

かいけつする

(重点)
学び方の習得

えがく

なりたい自分

<温かな安心できる学級づくり>

・ピア・サポート

・エンカウンター

<発達支援教育の理念>

・個に応じた指導

・はばたき学級との交流

・授業のユニバーサルデザイン化(意図や視点の明確化、視覚化など)